



なっとくんの

なるほどなっとくニュース

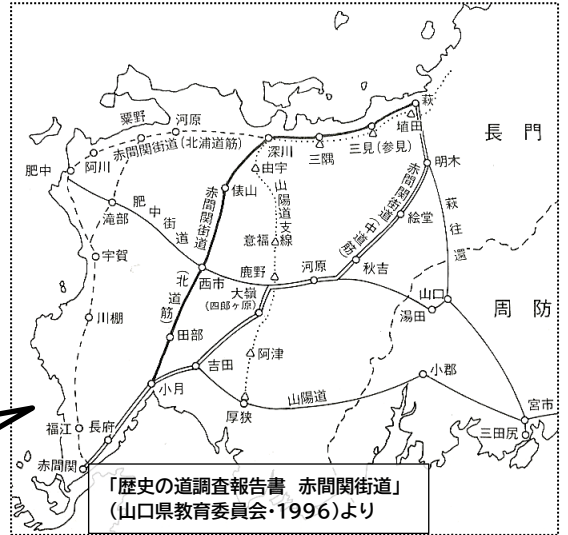


Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ウェブサイトでダウンロードすることができます。↑

「肥中街道」を歩く

「街道」は、日本で古くから存在する交通路・道路で、江戸時代の五街道等が有名です。山口県内では萩往還や山陽道がよく知られていますが、今回のなるほどなっとくニュースでは肥中街道を紹介します。



「歴史の道調査報告書 赤間関街道」(山口県教育委員会・1996)より

近世の山口県(長門国 中心)の地図だよ。肥中街道を確認してみよう。

肥中街道は、かつて山口県(長門国と周防国)を支配していた大内氏が、中心地山口から響灘に抜ける道として利用したものです。

大内氏は、肥中の港を利用して中国大陸や朝鮮半島との海外交易を行いました。また、この街道は、長門国の豊田氏などの武士団と大内氏を結びつける大切な役割もはたしていました。

肥中街道の起点となる山口市の道場門前安部橋には明治時代に立てられた石柱(道するべ)があります。



5月20日実施された歴史講座。当館の山田学芸員の解説からスタート。

周防四ノ宮赤田神社。ここを過ぎると、いよいよ街道は山道に。

山の中の肥中街道。昔は両側の木々は少なく、もっと明るかったようです。

レッツチャレンジ!

山口博物館では、1年を通して各分野でさまざまな講座を企画し実施しています。歴史講座では、10月に2回目の「古地図を片手に街を歩こう-萩往還・山口町編-」を実施します。みんなも、街道を歩いてみない? 山口県立山口博物館のウェブサイトへアクセスするか、右の二次元コードを読み取ってみましょう。詳しい紹介がありますよ。



山口県立山口博物館 イベント情報